

骨に肉付けする作業だったのか！ ～かゆいところに手が届く内容～

報告日:2011/12/12 報告者:帝京大学メディアライブラリーセンター

講座名	レポート・論文作成「超」実用講座 第3回:執筆準備編 「イイところ取りの丸写しじゃダメだったのか!？」の巻
日時	2011年11月24日(木) 16:30～18:00
会場	メディアライブラリーセンター 2階情報学習室
対象者	・初めてレポートを作成する学生 ・今までにレポートや論文の書き方を習ったことがない学生
参加者数	26名(教員2、院生2、学部生22) うち、第1回・第2回出席者:1名 第1回のみ出席者:1名
講師	総合教育センター 仁上幸治先生
教材	DVD『情報の達人』全3巻(DVD版33講)仁上幸治・野末俊比古監修、紀伊國屋書店、2007 「第3巻 レポート・論文を書こう! ;誰にでも書ける10のステップ」 第1講:レポート論文の作成手順 第4講:関連文献調査 第8講:文献の読解と執筆
配布資料	・レジュメ「イイところ取りの丸写しじゃダメだったのか!？」の巻 ー文献の裏付け付きの最終アウトラインを作ってからー ・情報の達人 第3巻テキスト 第4講(p.14～17) 第8講(p.30～33)
内容	DVD『情報の達人』「第3巻 レポート・論文を書こう!」を教材に、レポート・論文作成法の10ステップを解説するシリーズ企画である。 今回が初めての参加者も多かったことから、第2回までの講義内容である「テーマの選択」、「事前調査」、「仮アウトライン作成」の部分の丁寧な復習からスタートした。 今回のテーマは「イイところ取りの丸写しじゃダメだったのか」。 「ウェブからコピーで完成」ではなく、文献や信頼性のある情報源による裏付けが大切なこと、そのためにはウィキペディアではなく、適切なデータベースを検索することの重要性が語られた。また、読解した文献の整理法、最終アウトラインをもとにした執筆とその校正方法についても、具体的な事例とともに説明があった。
当日の様子	1年生の参加者が8割を占めた前2回とは異なり、1年生と4年生の参加者の割合が共に3割であった。前2回と比べ参加人数は減少したが、8割以上が今回の講義を「活かそう」と回答している。質疑応答の時間でも仁上先生が発表した「表現の禁句ファースト5」やテーマ選択に関する質問があがり、活発なやり取りをみせた。

参加者の内訳

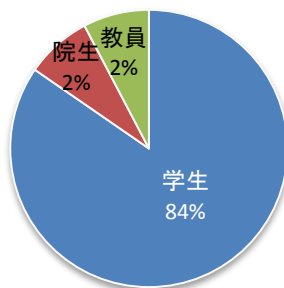
A.利用者区分

学生	22	84.6%
院生	2	7.7%
教員	2	7.7%
計	26	100.0%

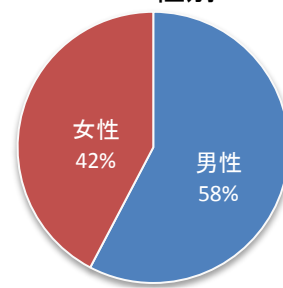
B.性別

男性	15	57.7%
女性	11	42.3%
計	26	100.0%

A. 区分



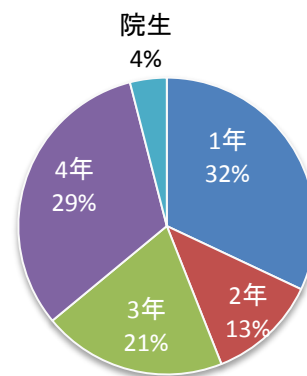
B.性別



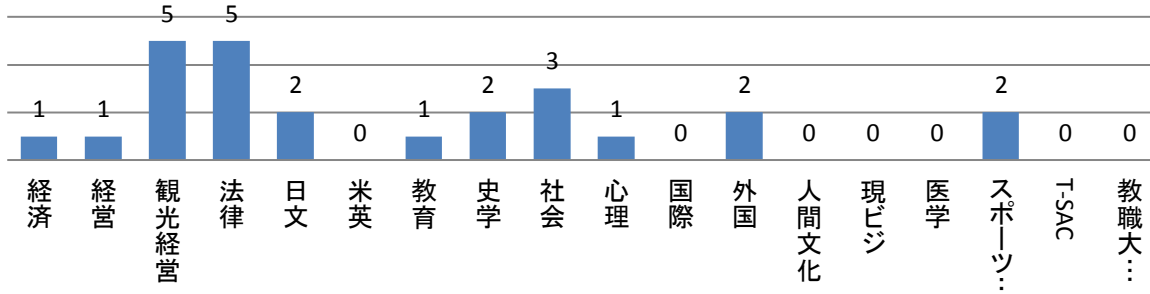
C.所属学科・学年(学生、院生)

	1年	2年	3年	4年	院生	計
経済		1				1
経営		1				1
観光経営	2		1	2		5
法律	2		2		1	5
日文			1	1		2
米英						0
教育	1					1
史学	1			1		2
社会	1		1	1		3
心理	1					1
国際						0
外国		1		1		2
人間文化						0
現ビジ						0
医学						0
スポーツ医療				2		2
T-SAC						0
教職大学院						0
計	8	3	5	8	1	25

C.所属学科・学年



C-2 学科構成<学生>

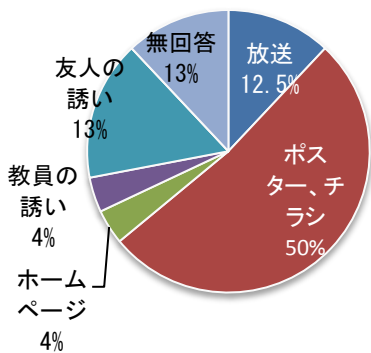


■アンケート集計結果

参加者数	26名
アンケート回収枚数	25枚
回収率	96.2%

[1] 本日の講習会のことを最初になにで知りましたか？

■ポスター、チラシが5割を占める。

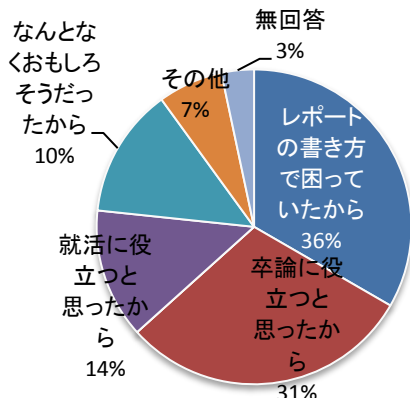


放送	3	12.0%
ポスター、チラシ	13	52.0%
ホームページ	1	4.0%
教員の誘い(注1)	1	4.0%
友人の誘い	4	16.0%
その他	0	0.0%
無回答	3	12.0%
計	25	100.0%

(注1) 仁上先生

[2] 参加しようと思った理由は何ですか？(複数選択可)

■「レポートの書き方で困っていたから」「卒論に役立つと思ったから」がそれぞれ3割。

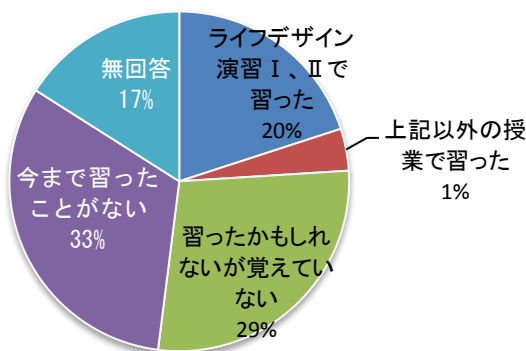


レポートの書き方で困っていたから	10	33.3%
卒論に役立つと思ったから	9	30.0%
教員に指示されたから	0	0.0%
就活に役立つと思ったから	4	13.3%
なんとなくおもしろそうだったから	4	13.3%
その他 (注2)	2	6.7%
無回答	1	3.3%
計	30	100.0%

(注2) 自分自身の勉強、教育力向上のため

[3] 今までの授業で、レポート・論文の書き方を習ったことがありますか？

■習ったことがあるとの回答は2割にとどまった。

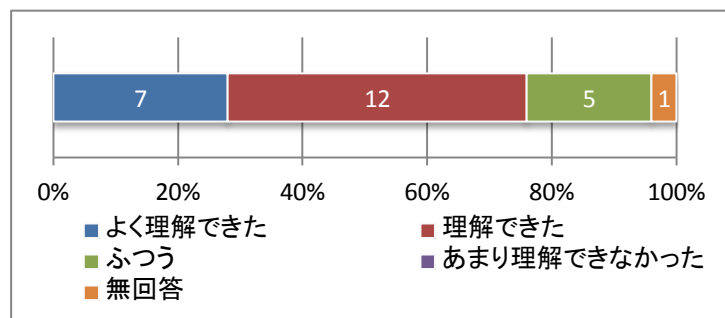


	1年	2年	3年	4年	院生	無回答	計	割合
ライフデザイン演習 I、II で習った	1		3	1			5	20.0%
上記以外の授業で習った (注3)				1			1	4.0%
習ったかもしれないが覚えていない	2	2		2	1		7	28.0%
今まで習ったことがない	2	1		3		2	8	32.0%
無回答	2		1			1	4	16.0%
計	7	3	4	7	1	3	25	100.0%

(注3) ゼミ

[4]-1 レポートの書き方は理解できましたか？

■8割が「理解できた」と回答

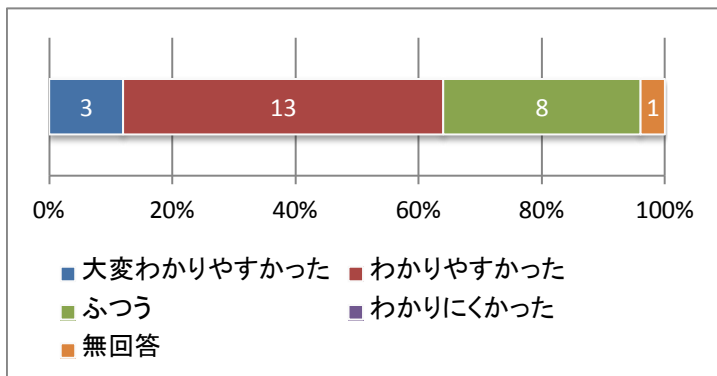


よく理解できた	7	28.0%
理解できた	12	48.0%
ふつう	5	20.0%
あまり理解できなかった	0	0.0%
全然理解できなかった	0	0.0%
無回答	1	4.0%
計	25	100.0%

[4]-2 教材DVD『情報の達人 第3巻』はわかりやすかったですか？

※「第1講 レポート・論文の作成手順」、「第4講 関連文献調査」、「第8講 文献の読解と執筆」

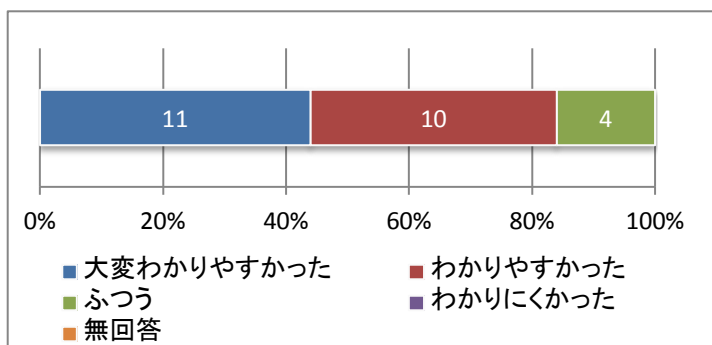
■6割以上が「わかりやすかった」と回答。



大変わかりやすかった	3	12.0%
わかりやすかった	13	52.0%
ふつう	8	32.0%
わかりにくかった	0	0.0%
大変わかりにくかった	0	0.0%
無回答	1	4.0%
計	25	100.0%

[4]-3 講師の説明はわかりやすかったですか？

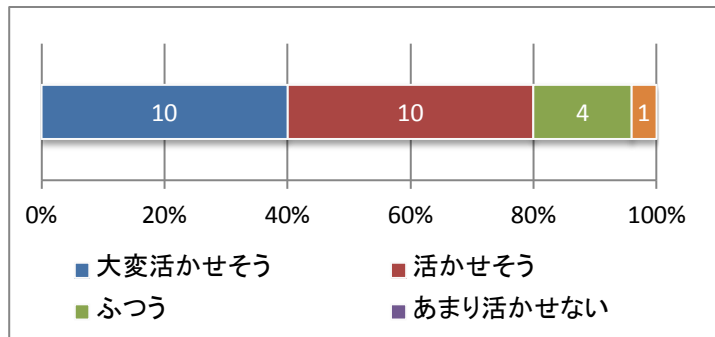
■8割以上が「わかりやすかった」と回答。



大変わかりやすかった	11	44.0%
わかりやすかった	10	40.0%
ふつう	4	16.0%
わかりにくかった	0	0.0%
大変わかりにくかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	25	100.0%

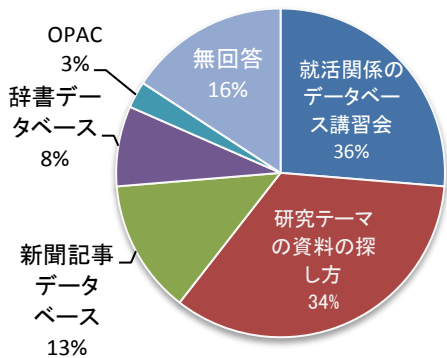
[4]-4 この講習会で学んだことを今後の大学生活に活かそうですか？

■8割が「活かそう」と回答。



大変活かそう	10	40.0%
活かそう	10	40.0%
ふつう	4	16.0%
あまり活かさない	0	0.0%
全く活かさない	0	0.0%
無回答	1	4.0%
計	25	100.0%

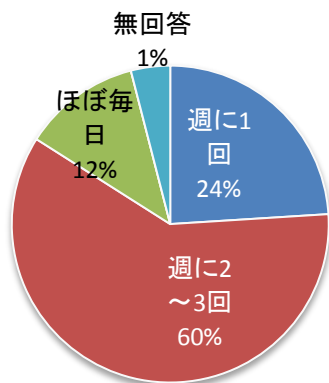
[5] 今後参加したい講習会に○を付けてください。(複数選択可)



就活関係のデータベース講習会	10	26.3%
研究テーマの資料の探し方	13	34.2%
新聞記事データベース	5	13.2%
辞書データベース	3	7.9%
OPAC	1	2.6%
その他	0	0.0%
無回答	6	15.8%
計	38	100.0%

[8]MELICの利用頻度を教えてください。

■「週に2～3回」以上の利用者が7割を占める。図書館利用に熱心な層が受講していることが分かる。



週に1回	6	24.0%
週に2～3回	15	60.0%
ほぼ毎日	3	12.0%
あまり利用しない	0	0.0%
無回答	1	4.0%
計	25	100.0%

★感想をひとこと(20文字以内)

レポート作成のコツとは！？

- ・執筆とは、骨に肉付けをする作業だと思った。
- ・基本は確実に！
- ・めんどくさがらずに手順に沿って着実にやる！
- ・完成までの道順が見えました。

ここが満足

- ・一番聞きたいテーマだったので良かった。
- ・かゆいところに手が届く内容だった！！
- ・レポートや論文のイメージが変わった。

データベースを活用したい

- ・卒業論文を書く際データベースを活用したい。
- ・帝京大学のデータベースはとても使える。
- ・データベースを使っていこうと思います。
- ・OPACを使い倒そうと思いました！
- ・データベースを知りませんでした！

わかった！

- ・基本的なレポートの進め方がわかりました。
- ・初めてレポートの書き方が理解できた。
- ・自分が今まで出来ていない事が分かった。
- ・最終アウトラインの作り方がよくわかった。
- ・料理のようにという言葉が分かりやすかった。

その他

- ・レポート作成技術の向上の可能性。
- ・本題に入るまでの前半の1時間は長いと感じた。
- ・まずは日本語を勉強しようと思いました。
- ・おもしろい。
- ・最高の卒業論文が執筆できそうですよ！

[6]もっと詳しく説明を聞きたかった点などご自由にご記入ください。

教員

- ・知っているつもりが体系的に学べました。説得力のある説明で、大変良かったと思います。
今日の学生にとって「文章を書くことの楽しさ、面白さ」を教えていただければもっと良いと思いました。
ライフデザイン演習を担当される先生も、是非受講したら良いと思いました。
- ・実用講座の名の通りすぐに役立つ内容でした。文献の適切性をどう判断させるのか。
おそらく学生は、どの文献が適切かが判断できないことが大きな問題なのではないかと思いました。
※大変参考になる講習会でした。やはり全ての学生に受けさせたいと思いました。

学生

- ・書き方はわかった。例題・例文があればもっと良く理解できたと思います。
- ・論文以外でも就活に役立つ作文の書き方についても知りたかったです。
- ・アメリカの大学の論文でも同じように作成すればよいのか。
- ・第1～3回参加したので第4回も参加したいと思います。今日、先生がおっしゃっていた表現の禁句以外のNGワード集はぜひ、ききたいです。
- ・最終アウトラインから文章にするときのポイント。NGワード集(仁上先生が「これは良くない」と思う言葉がどんなものか、又その理由。)
- ・レポートというだけでいやな気持ちになっていましたが、これからは授業で学んだことをいかしてがんばっていきます。
- ・初めての参加でしたが非常に有意義なものになりました。また参加したいと考えています。

以上